

SOYOKAZE

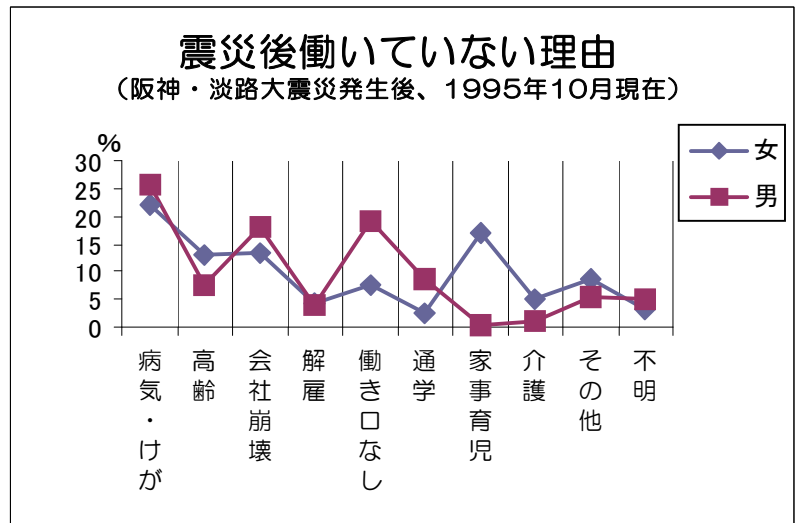
そよ風

Vol.39

2011年7月25日

【目次】

- P 1 *トピックス 被災地の女性をとりまく状況
- P 2 *報告「条例を考える会」
 - *男女共同参画週間パネル展示
 - *これから行う講座のお知らせ
- P 3 *総会報告・会長挨拶
 - *新運営委員紹介
 - *報告「女性差別撤廃条約を学習しよう！」
 - *事務スタッフ紹介
- P 4 *図書紹介・貸出案内
 - *女性の悩みごと相談
 - *節電による休館のお知らせ
 - *センター利用案内



データ参照：「女たちが語る阪神・淡路大震災」（ウィメンズネット・こうべ）

トピックス

被災地の女性をとりまく状況

3月11日の東日本大震災では、亡くなった方、家や職業を失った方、今なお避難(所)生活を続けている方など、私たちの記憶から消し難い大きな災害となりました。改めてお悔やみとお見舞いを申し上げます。

首都圏に住む私たちも、道路が波のように揺れ、電車は止まり、帰宅困難となった人が多数続出するなど、かつてない経験をしました。

しかし被災した方々の困難を思うと、時間が経つにつれ、その「声」の切実さに、自らの日常生活を省みる機会を与えられたと同時に、あらためて「災害で見えてきたこと」に教えられます。

それは女性や高齢者、障がいを持つ人、幼い子どもたち、外国の人など、身体的にも情報からも弱い立場にある人々への配慮が欠けているということでした。特に女性に関しては、具体的には以下のようなことがあり、ここでは、内閣府男女共同参画局がとりまとめた文書をもとに紹介します。

◆プライバシーについて

共同生活の場である避難所ではプライバシーの確保が課題ですが、着替え・授乳・トイレ・入浴設備等、男性の目が気にならず、安心して使える場が用意されていない所が多くあります。

◆家事・育児・介護

被災する前から家事・育児・介護の多くは女性が担ってきました。自分自身が被災者である上に、被災地でもこれらの負担が加わり、子どもや高齢者の世話に加えて、避難所の人たちの食料の調達や食事の用意などの負担を余儀なくされています。

◆暴力など

被災地でも女性に対する暴力が発生しています。レイプ、DV…など、ストレスフルな状況とは言え、それを「仕方がない」と諦めたり、見過ごしたりせず、防止策を積極的に講じていく必要があります。

◆働くことについて

グラフからもわかるように、阪神・淡路大震災後の調査からは、ただでさえ非正規雇用の多い女性たちは、家事・育児・介護等の負担を引き受けて、再就業が男性に比べて困難になっています。災害を機にそのまま失業してしまう…その影響が母子家庭の母親や単身若年女性たちにより強く出ています。

◆組織運営・相談窓口

避難所は社会の縮図とも言え、運営組織のトップは男性が、末端の仕事は女性が担うという状況があります。緊急事態に「性別役割分担意識」が男女双方共に強化され、女性たちがさまざまな苦痛や影響をこうむると、阪神・淡路大震災の時の証言があります。女性専用の相談窓口も少なく、女性が声をあげ、それが生かされていくことが難しくなっています。

このように見てくると、「男はこう」「女はこう」といった固定的性別役割分担意識や、男女共同参画の視点の欠如など、普段の生活のあり方が、災害時には顕著になってくるのが分かります。武蔵野市の防災計画も、この大震災の貴重な経験をむだにせず、男女共同参画の視点を積極的に盛りこんでいくことが必要です。それは同時に男性にかかる過重な負担の軽減につながることであります。



パートII

昨年度は7回の例会と2回の勉強会を実施し、女性をとりまく現状と課題が少しずつ見えてきました。武蔵野市は東西に長く（東西は6.4kmで南北の約2倍、面積10.73km²）、緑の美しい住宅街、魅力的な商業地区吉祥寺、武蔵境駅近くには図書館を中心に生涯学習支援・青少年活動支援・市民活動支援の4つの機能を併せ持った施設「武蔵野プレイス」が今夏オープン…と、これらは市民にとって大きな誇りです。

ところが65歳以上の高齢人口は2割を超え、単身世帯が全人口の5割を占めていて、若者世代の転出入も多く、合計特殊出生率（2009年度）は0.86と多摩地域では最低の数字です。また市の子ども家庭課で把握しているDV（ドメスティック・バイオレンス＝配偶者間暴力）の発生状況（2009年度）も、＜夫からの暴力＞が341件となっています。

男女共同参画意識調査（2008年11月）では＜自分が直接DV被害を受けた＞女性が1割弱、＜被害にあってる人を知っている＞と答えた女性は約2割でした。相談しやすい窓口を増やしたり、被害者を一時的に保護する施設を整備するなどの対策が急がれます。

市役所の職員構成をみると女性は全体の5割弱なのに、管理職96人中女性管理職はわずか4人（平成23年4月1日）となっています。育児休業取得率では2008年度には、女性は100%取得しているのに男性0%、2009年度になってようやく男性4.7%の取得状況でした。男性職員も育児休業を取る、意欲ある女性は管理職を目指す、それが当たり前の市役所になったら男女共同参画社会実現のロールモデルとしてさらに評価が高まるでしょう。

女性も男性も子育てや介護をしながら仕事ができるように、女性リーダーがもっと増えて活躍できるように、仕事と家庭の両立を支援するルールや意識づくりが大切になってきます。会では、いろいろな立場の方々から支えていただきながら、武蔵野らしい条例作りに向け、さらに勉強していく予定です。

（むさしのヒューマン・ネットワークセンター運営協議会委員 向井一江）



2011年度男女共同参画週間・パネル展示

“心に響かせるDV根絶パネル”

■期間：6月23日(木)から29日(水)

■場所：武蔵野市役所 1階ロビー

今年の男女共同参画週間には、市と共催で「NPO男女平等参画推進みなと」制作のパネル12組を展示しました。これは、広告大手クリエイターの協力により、生活の中に潜むDVを簡潔なキャッチコピーと写真で表現したもので、コピーライター業界の「直木賞」と称されるTCC賞を受賞したものです。

展示直後からロビーの雰囲気がからりと変わり、おっ、と目に止める人や立ち止まる人が現れました。机の上に置いたセンターで作成したブックレット『許しません、DVを。』の減り方も早く、市民からの問い合わせもありました。

市内外の幅広い年齢層の方が市役所に立ち寄りながら見てくださった様子で、心に響いたパネルに丸シールをつけて投票するようにしたところ、「3日に1人、妻が夫に殺されています。」と「ご近所にみせるあなたの笑顔が恐ろしい。」が高得点を集めました。

（むさしのヒューマン・ネットワークセンター運営協議会委員 三上かおり）



これから行う講座のお知らせ

<講義と話し合い>

イキイキママのこれからライフ

～幼児をもつ母親のための講座～

子育て時期は何かと忙しいけれど、ふと「このままでいいのかな」と思うことはないでしょうか…

4回連続講座（全回火曜日）
午前10:00～12:00
市民会館第1学習室

進行：下村美恵子
（むさしのヒューマン・ネットワークセンター長）

①	9/20	友だちと私
②	9/27	夫と私
③	10/4	仕事と私
④	10/11	これからの私



家族の現在を問う

3回連続講座（全回土曜日）

10月8日、15日、22日

午後1:30～3:30

～予定講師～

武蔵大学教授
千田有紀さん

子育てひろば代表 / 東京ベテラル代表
森木美佐子さん

産業カウンセラー / ジャーナリスト
大美賀直子さん …他

※詳しくは市報及びセンターホームページをご覧ください。



2011年度総会報告・会長挨拶

東日本大震災で犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げ、被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げます。

「誰もが自分らしくイキイキと生きられる男女共同参画社会のまちづくりをめざす」武蔵野市の男女共同参画推進の拠点、それが「むさしのヒューマン・ネットワークセンター」です。志ある市民と団体が構成している運営協議会はセンター開設から13年間、市の委託を受け管理・運営を担ってまいりました。5月7日に行われた今年度の総会では19人の運営委員が承認され、今年度も意欲的な活動に取り組みます。



【5/7総会の様子】

私たちの生きづらさや悩みや困難などは、自分だけが感じる事なのか、それとも社会や政治や地域の問題につながっている事なのか、センターではさまざまな事業を通して市民の皆様と男女共同参画について考え合い、より良いまちづくりに貢献していきたいと思っております。

『そよ風』(センターだより)やホームページでは、そうした事に関するさまざまな情報を発信いたします。ご期待ください。

また、センターには図書や行政資料、他自治体からの情報誌もあり、会議室、交流スペース、印刷作業室などもあります。皆様のご利用をお待ちしています。

(むさしのヒューマン・ネットワークセンター運営協議会会長 中川瑛子)



勉強会報告

女性差別撤廃条約を学習しよう!

—みんなで学んで力を発揮—

ゲスト：石崎 節子 さん

(国際女性の地位協会理事/ねりまジェンダー研究会代表)

6月30日(木) 午後2:00 ~ 4:00

男女共同参画に関心を寄せるすべての人々たちにとっての「基本のき」、それは女性差別撤廃条約です。

このほどその条約について、長年周知活動に携わってきた石崎さんのお話を伺いました。国際的な条約とは言っても決して遠い存在ではなく、私たちの日常生活に生かされるものであるという認識を深めることができました。

そして各自自治体が男女共同参画推進条例を策定し、それが暮らす地域で条約の精神を生かすことが大切である、というお話もあり、男女共同参画の軸となる条約は、人が何の差別も受けずにその人らしくあたりまえに生きていくための支えになるということを学びました。参加した人たちは改めて条約を身近に感じたのではないのでしょうか。

2011年度新運営委員決まる

5月7日に行われた総会で、決まった運営委員(敬称略)

	氏名	役職	団体名
1	中川 瑛子	会長	NPO法人市民まちづくり会議むさしの
2	大島 登志子	副会長	グループ創
3	栗原 毅	副会長	個人
4	作部 径子	書記	個人
5	三上 かおり	書記	共同参画むさしの
6	岩城 末子	会計	個人
7	原 利子	会計	婦人有権者同盟
8	齋藤 理恵	会計監査	個人
9	向井 一江	会計監査	個人
10	岡橋 葉子		NPO法人むさしの経営支援パートナーズ
11	木下 章子		個人
12	桑田 知子		個人
13	高坂 祐里子		婦人民主クラブ武蔵野支部
14	司茂 彰一		個人(※7月9日まで在任)
15	砂川 直美		個人
16	土屋 美恵子		個人
17	内藤 博子		個人
18	野崎 斐子		むさしのスカーレット
19	深田 貴美子		個人

センター事務スタッフ紹介

スタッフは6名です

金井真人・高野良美・齋藤理恵・
笹井洋子・林 瑞穂
下村美恵子(センター長)

センターで働く私たちも、心地良い関係で仕事に励み、市民の皆さまと共に武蔵野市の男女共同参画推進に努力していきます。お気づきのことやご意見等いつでもお寄せください。よろしくお願ひ申し上げます。

図書紹介

むさしのヒューマン・ネットワークセンター所蔵図書の蔵書一覧が、ホームページ上でいつでも閲覧できます。お探しの本、以前から読みたかった本・・・見つかるかもしれません。どうぞ、ご利用ください。



『女たちが語る 阪神・淡路大震災』

ウィメンズネット・こうべ編

木馬書館 2007

震災直後の心情・状況を、女たちが何もかもさらけ出すように語っています。この本がどれほど大事なことを詳しく示しているか、今回の震災によってようやくわかりました。「震災後の立ち上がりの早さは、社会階層によって全く違った」「日本の社会階層の格差がもっともひどいのは『男という階層』と『女という階層』で、その格差は、非常時には取り返しがつかないほど露わになる」ということを指摘しています。常日頃から敏感に対応していきたいものです。

『疲れすぎて無性にチョコレートが 食べたくなるあなたへ』

カレン・スカルフ・リーナメン著
岡部 真理 訳

中経出版 2004



抱きしめておしゃべりして寄り添うようなトーンで書き進められ、読むうちに、鬱病への理解が知らず知らず深まってきます。

また、女の友情の育て方を教えてくれる本でもあります。どんな人がよい友達で、よい友達になるにはどんな人になればいいのでしょうか？自分の弱い部分を隠さない人、約束を守れる人、価値観が似ている人、分別のある解決法を模索してくれる人、あなたと同じ悩みを抱えている人、なのです。

ひとりで悩まずにまずは相談を…

女性の悩みごと相談

(いずれも無料)

■女性総合相談

※50分間まで面談・予約制

第2木曜 (10:00～、11:00～)

第4火曜 (13:30～、14:30～)

★ 場所・問い合わせ

市民協働推進課市民相談係

☎60-1829

☎60-1921 (予約専用)

■母子(ひとり親)・女性相談

毎週月～金 (9:00～17:00)

(祝日・年末年始を除く)

★ 場所・問い合わせ

子ども家庭支援センター

☎60-1850



(イラスト)きたもりちか

図書貸出案内

- ・図書 3点まで
14日以内
- ・ビデオ 2点まで
7日以内
- ・DVD センター内設置のプレイヤー
または専用PCでのみ再生、
視聴できます
※貸し出しはしません。



節電による休館のお知らせ

武蔵野市では、平日の電力使用量について対前年度比15パーセント以上の削減を目標として、節電に取り組んでいくことになりました。

当センターでは、7月1日(金)から9月22日(木)の期間、休館日を日曜日から水曜日に振り替えます。併せて、水曜日と金曜日の夜間開館を中止します。

皆様には大変ご不便をおかけしますが、何とぞご理解くださいますようお願いいたします。

*9月24日(土)からは、平常通り(センター利用案内)の開館となります。



● センター利用案内 ●

開館時間：月・火・木・土曜日 9:30～17:00
水・金曜日 9:30～21:00

会議室利用時間

《午前》10:00～13:00 《午後》13:30～16:30

《夜間》17:00～20:30(水・金のみ)

※予約制(2か月前より可) / 利用料無料

● 発行 ●

むさしのヒューマン・ネットワークセンター
武蔵野市境 2-10-27 武蔵境市政センター2階
電話/FAX：0422-37-3410
E-mail：mhnc@tokyo.email.ne.jp
ホームページアドレス <http://www.mhnc.jp/>